

(様式7-2)

会派政務調査活動・先進地調査等 精算書

令和8年3月27日

三田市議会議長 肥後 淳三 様

本会派(私)は、会派政務調査活動・先進地調査に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会 派 名	市民とともに	代 表 者	
		議員名	大西 憲司
派遣者氏名	大西 憲司		
視 察 先	① ジビエ処理施設 新田哲也氏自宅 丹波篠山市大上219 ② 兵庫県丹波篠山市役所 丹波篠山市北新町41		
調 査 事 項 (調査目的)	① ジビエ食肉加工施設とジビエ販売を営んでいる方からジビエの捕獲を始め、流通等を調査することで三田市での課題解決の糸口を探る。 ② 波篠山市の AI デマンド交通等の取組について		
日 時	令和7年7月3日(木) 10時～午後3時30分		
支 払 金 内 訳	科 目	支 出 額	摘 要
	宿泊料		
	日 当		
	鉄道賃 (モジュール)		
	航空賃		
	バス賃		
	船 賃		
	タクシー	2,274	8,525/4=2,132 円 燃料費 570/4=142 円
	その他	14,884	手土産 2,268×2 か所/4 =1,134 円 加工施設視察費用：55,000/4=13,750 円
合 計	17,158		
備 考			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

2026年3月27日

三田市議会議長 肥後 淳三 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民とともに	代表者	
		議員名	大西 憲司
派遣者氏名	肥後淳三、山崎丈、大西憲司、橋本維文		
視察先及び調査事項(調査目的)	① <u>カーリマン 丹波篠山市大上 219</u> <u>「ジビエ食肉加工施設の現地視察」</u> ② <u>丹波篠山市役所 丹波篠山市北新町 41</u> <u>「AIオンデマンドバスの概要について」</u>		
日 時	2025年7月3日(木曜日) 10:00~15:30		
視察先対応者	① <u>丹波篠山市役所 農都創造部 森づくり担当部長 押田健一氏</u> <u>鳥獣被害対策専門員 京極暁氏</u> <u>カーリマン施設代表 新田哲也氏</u> ② <u>丹波篠山市議会 副議長 向井千尋氏</u> <u>丹波篠山市役所 企画総務次長・創造都市課長 藤田尚位氏</u> <u>丹波篠山市役所 創造都市課係長 竹内一真氏</u> ① ② <u>議会事務局 書記 岡崎 賢二氏</u>		
(調査結果の概要及び所見)			
・調査結果の概要及び所見は、 別紙1：①「ジビエ食肉加工施設の現地視察」 別紙2：②「AIオンデマンドバスの概要について」 に添付しています。			

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

別紙1 丹波篠山市視察報告

視察先	兵庫県丹波篠山市
視察日時	令和7年7月3日 10:00~12:00
視察内容	ジビエ食肉加工施設の現地視察

丹波篠山市概要

人口：約40000人 世帯数：約16000世帯  
面積：377.59km<sup>2</sup>

視察内容

(1) 丹波篠山市における野生動物被害対策の状況

- ・鳥獣別被害額・被害面積の推移
- ・R7年度丹波篠山市獣害対策施策
- ・市猟友会への委託の状況（捕獲目的、対象、期間、活動内容、捕獲方法、報償費等）
- ・丹波篠山市の有害鳥獣捕獲の特色
  - 1 鳥獣被害対策実施隊制度を採用
  - 2 銃猟とわなによる捕獲
  - 3 報償費等を支払い
  - 4 捕獲したシカ・イノシシ食肉利用促進
- ・獣害に強い集落づくりの取り組み（住民参画、環境整備、情報共有）
- ・獣害対策の課題→獣害対策推進計画を策定（R2）

(2) ジビエ食肉加工施設の現地視察

施設に持ち込まれた時から製品になるまでの加工工程を、施設内の設備ごとに説明

- ・捕獲：箱罠・くくり罠等で捕獲した個体を、止め刺しの後に急速に冷やして加工施設に搬送
- ・放血、洗浄、皮剥ぎ、ドライ熟成、脱骨、トリミング、冷凍・発送



施設の説明



事業の説明



新田さんの説明

所感

食肉加工処理カーリマン代表の新田さんの肉加工や捕殺へのこだわりや熱意が事業化の大きな要因になっている。止め刺しの方法ひとつで肉の味が大きく変わることを教えていただき、新たな発見であった。新田さんの情熱と行政のバックアップが噛み合っており、三田市においても、熱意を持って取り組む事業者に対して適切なバックアップは必要と感じた。ジビエの食肉加工に関しては、野生鳥獣を食肉として無駄にしないSDGsの考え、新たな特産としての未来、被害鳥獣の駆除の効率化など、様々なメリットがあると考えており、三田市でも事業化できるよう検討を進めていきたい。

視察先	兵庫県丹波篠山市
視察日時	令和7年7月3日 13:30~15:30
視察内容	AIオンデマンドバスの概要について

### 視察内容

- (1) AIオンデマンドバス「のりーな」見学  
市役所敷地内で、説明、実車
- (2) 市役所議員協議会室にて、創造都市課 藤田尚位課長、竹内一真係長から資料に基づいて説明
  - ①丹波篠山市AIデマンドバスについて
    - ・現在の運行状況
    - ・利用方法、運航エリア、運賃
    - ・導入車両
    - ・ミーティングポイント（バス停）
    - ・利用実績
    - ・利用者アンケート
    - ・住民周知・説明会
  - ②デマンドバス運行エリアの拡大について
    - ・デマンドバス運行エリアの拡大について
    - ・コミュニティバスの休止について
    - ・「交通空白」解消緊急対策事業
    - ・AIデマンド交通に取り組む目的について
    - ・市のデマンドバスの考え方
    - ・デマンドバスの利用説明会について
    - ・エリア拡大スケジュール
    - ・市の目指すべき将来の公共交通ネットワークの考え方



丹波篠山市議会議場にて



のりーな車体



停留所表示

### 所感

説明の中で、地域交通は公共交通の延長ではなく、福祉政策として考えているとの発言があり、非常に共感できた。丹波篠山市の取り組みは市全体として、公共交通のエリア、地域内交通のエリアと区分けがはっきりしており、シンプルでありながら非常にわかりやすい内容となっていた。

地域内交通としては、公共交通とは違うのでわかりやすいといくことも非常に大切なファクターであると感じた。また、今後の課題としてエリア拡大、利用者の増加、交通結節点など課題もはっきりとしており、三田市としても大いに参考になる内容であった。